



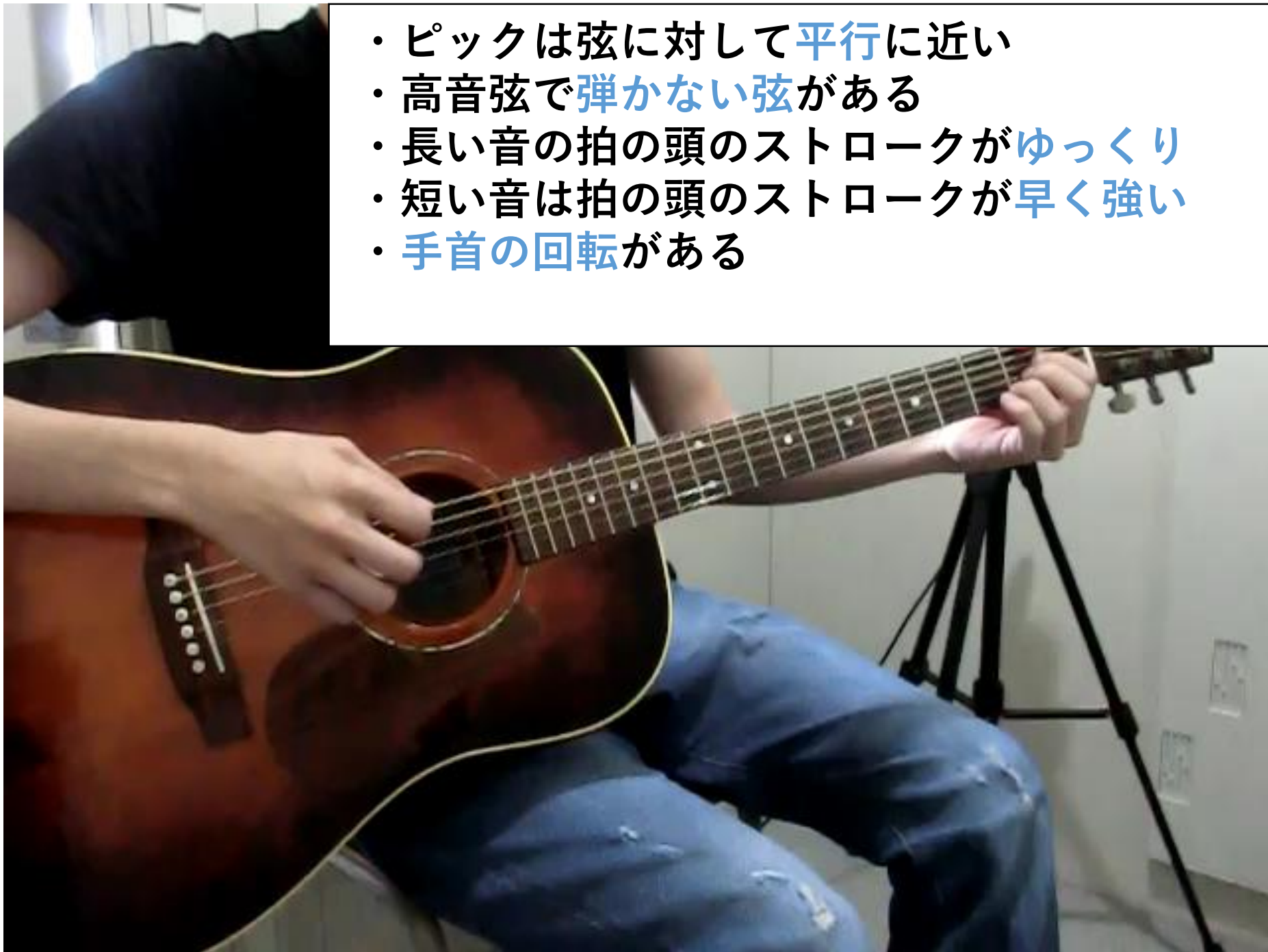
実験方法

- ギター歴の違う2人に同じ曲を同じギターで演奏させる（7年と4年）
- マイクロフォンで録音
- デジタルカメラで録画
- マイクロフォンで記録した音声をスペクトログラムでみる

音の違い

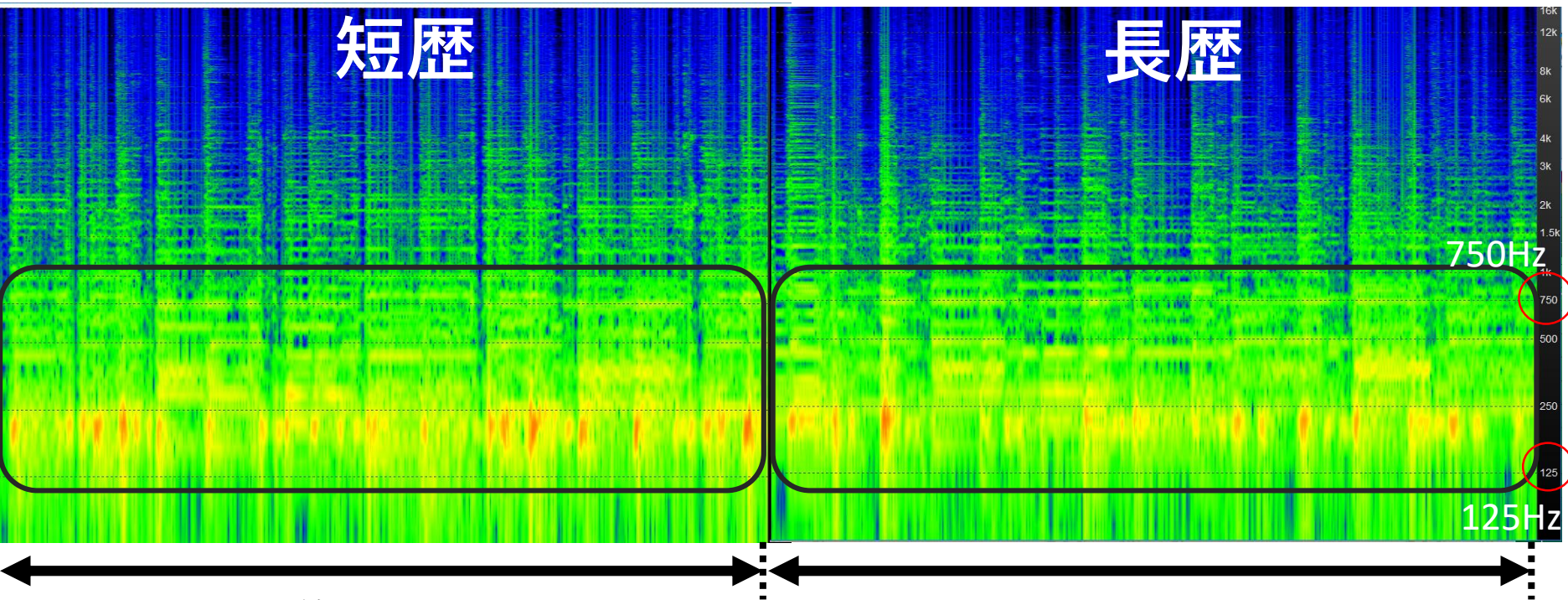
相違点	短歴 	長歴 
音色	<ul style="list-style-type: none">・ 低音が弱く 高音が鋭い・ 歯切れが悪い (E→F#m)・ 高音がきたない	<ul style="list-style-type: none">・ 低音がしっかり鳴っていて 高音も柔らかく鳴っている・ 優しい印象
リズム	<ul style="list-style-type: none">・ 一定	<ul style="list-style-type: none">・ 一定
ピッキング	<ul style="list-style-type: none">・ 和音×	<ul style="list-style-type: none">・ 和音○
ストローク	<ul style="list-style-type: none">・ 強弱をつける箇所がまばら	<ul style="list-style-type: none">・ 抑揚の感じる強弱がある

- ピックは弦に対して**平行**に近い
- 高音弦で**弾かない**弦がある
- 長い音の拍の頭のストロークが**ゆっくり**
- 短い音は拍の頭のストロークが**早く強い**
- **手首の回転**がある



- ピックが弦に対して**平行**になっていない
- すべての弦を**同じストローク**で弾いている
- **手首の回転**は少ない





約 1 2 秒

約 1 2 秒

A E Bm D

A E F#m E

結果・考察

- 低音と高音の音量差，抑揚が演奏の上手い下手を分ける要素である
- ストローク，弦を弾く角度，手首の回転（弦の弾き方）によって音の鳴り方が変わる
- リズムと音量の強弱が抑揚をつくり，印象を左右する
- ギター一歴が長いと音を出すことには慣れているため，演奏方法に配慮できる